

CRF
450R
US仕様



開発の狙い

**CRF
450R**

環境に配慮した、よりクリーンな性能を備えながら、2ストロークマシン以上のパフォーマンスを発揮すること。これを実現するために4ストロークモトクロッサー、CRF450Rの開発はスタートしました。

エンジンには強力なパワーとトルクを発生させる新設計の水冷4ストローク4バルブ単気筒エンジンを搭載。独特なユニカムヘッド、超フラットのミニスカートピストン、クラシクケースとミッションを分離したデュアルサンプ潤滑システムなどの先進技術を投入するとともに、さらに多くのユニットパーツを軽量化するなど、極めて軽くパワフルな高性能4ストロークエンジンに仕上げました。

またフレームは、2002年型CR250R用に新開発されたアルミ製セミダブルクレードルツインチューブフレームをベースとして採用。エンジンマウントと出力特性に合わせて綿密なリファインを施すとともに、多くの軽量化施策を組み込み、ベースのフレームからの重量増加もごくわずかに抑えています。

これら高性能エンジンと軽量アルミフレームの組み合わせによって、2ストロークをも凌ぐ革新的なパフォーマンスを生み出す4ストロークモトクロッサーが誕生したのです。



パワーユニット

CRF
450R

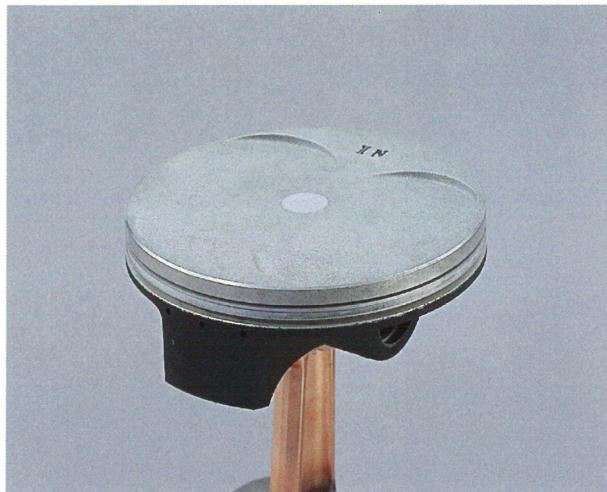
自動デコンプレッションシステム

寒冷時の始動と暖機時の再始動をスムーズに促す自動デコンプレッションシステムには、独特のピン回転式を採用。どのギヤからでも軽い踏力で素速く始動させることができます。

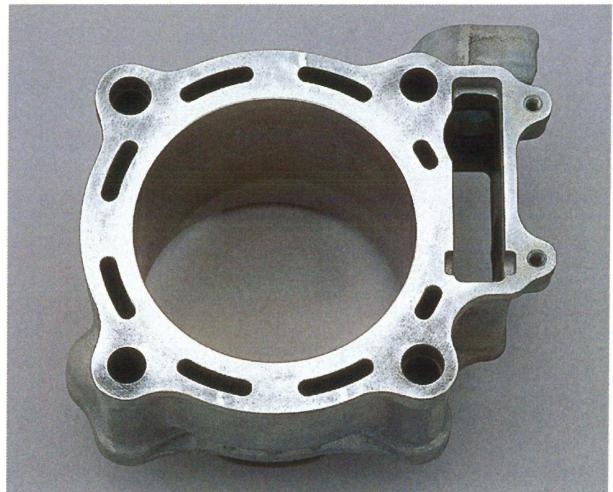
ミニスカートピストン

CRF450Rは、鍛造2リング式フラットトップピストンを採用。スリッパー形状のミニスカートピストンは、直徑96mmに対して高さはわずか36mmで、重量は通常型のピストンに比べ108g軽い267gを実現しています。

コンロッドには2重浸炭処理を施し、大端部にニードルローラーベアリングを採用。強度と信頼性に優れた仕様としています。またシリンダー内をNiCaSilコーティングし、軽量化を図るとともにエンジンの耐久性と静粛性を高めています。



ミニスカートピストン & 2重浸炭処理コンロッド



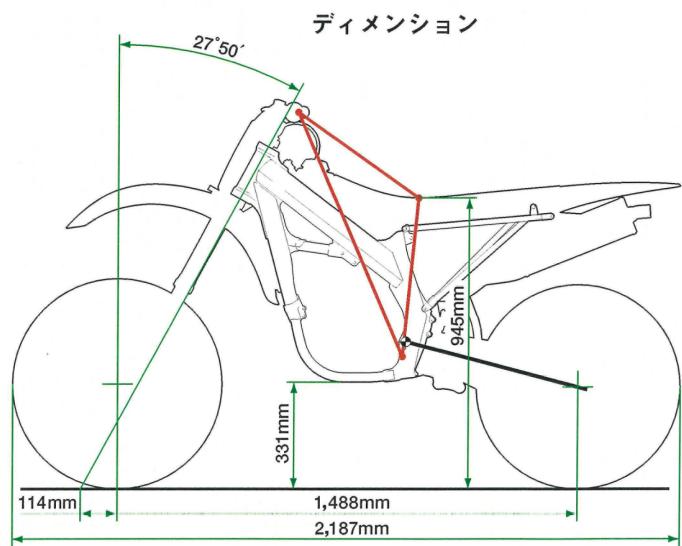
NiCaSilコートシリンダー

フレーム

CRF
450R

フレームは、現在CR250Rに使用している第3世代のアルミ製セミダブルクレードル・ツインスパーフレームをベースに採用。コンパクトな鍛造アルミ製ステアリングヘッドパイプ下方には、Honda独自のスエージング技術による角型断面のテーパー状ダウンチューブを接続。頑丈な角型断面のロアーパイプがエンジンをしっかりとホールドするとともに、ハードなモトクロス競技においてもグラウンドヒットしにくい高い位置を保ちます。

この革新的なアルミ製フレームの採用により、CRF450Rは乾燥重量102kgという驚異的な軽さを実現。剛性、強度およびコンプライアンスにおいても高次元なバランスをみせ、極めて高い運動性能と取り回し性を発揮します。



ライディングポジション

**CRF
450R**

ライダーの適切なライディングポジションは、CRF450Rの重要な開発課題のひとつであり、ハンドルバー やステップ、およびシート形状とシート位置の設定により、最適なバランスを実現しています。

シートは、ライダーの動きの自由度を高めるとともに、よりスムーズな体の移動によってマシンとの一体感が得られるよう、燃料タンクとフレームの形状に合わせた設計を施しています。

さらにラバーマウントされたハンドルバーは、ライダーの疲労を軽減。快適性を向上させる一方、オプションのCR125Rのホルダーを使用することで、ライダーの体格や好みに応じて前後に3mmの位置調整を可能とします。HRCワークスタイルのハンドルバーグリップもライダーの手にフィットし、操作性の向上に貢献します。



スタイリング & カラーリング

**CRF
450R**

CRF450Rは、2002年型CRシリーズと同じく優れた戦闘力をアピールするアグレッシブなスタイリングとしています。全体のフォルムは細身のフレームと完全に一体化させ、ライダーのスムーズな動きに追従するよう滑らかな面で構成しています。すべての外装パネルは容易に取り外せる設計とし、ヒート間でも必要な整備が素早く行えます。

カラーリングは、HRCワークスマシンのイメージを踏襲。黒いウイングマークと鮮やかな赤色のフェンダー、シュラウド、サイドパネルが、精悍でスバルタンな印象を与えてています。さらにシュラウドに描かれた鮮やかな黄色の「CRF」のロゴが、強烈にその存在をアピールします。

車体色：エクスプロージョンレッド



